

1. 高取町の農業の概要

高取町は、大和平野の南端に位置し、東は高取山、南は船倉連峰をもって吉野郡大淀町に接し、西は曾我川を境に御所市に、北は貝吹山を境に明日香村及び橿原市にそれぞれ接し、大阪の中心部まで約40kmの位置にあります。地形は、概ね東南に高く、西北に低く東西約8kmと南北約6kmで、面積約25.77km²を有す中山間農業地帯です。

主な農業形態は、水稻が中心で、夏秋ナスの露地野菜、ホウレン草、イチゴ栽培が一部行われていますがほとんどが兼業農家という状況です。農業従事者の高齢化及び後継者不足が深刻化する中で耕作放棄地は増え、農林業センサスにおける耕作放棄地は39.51ha、今後10年で70haが耕作放棄地になる恐れがあります。この数字は高取町の農地の約30%を占め、耕作放棄地解消の対策が急がれます。

2. 農業委員会の取り組み

①具体的な取り組み内容

高取町農業委員会では、平成17年度から幼稚園児や小学生を対象にした学童農園の取り組みを進めています。食農教育の一環ではじめたこの取り組みは、農業委員が中心となり行われています。町内の遊休農地を農業委員自らが解消し、この農地を活用して農業体験や収穫体験の指導を行っており、収穫した農作物は学校給食の食材として活用されています。「農業を子供たちに伝えていくことも我々の使命」と積極的に活動しています。活動が広がり、いまでは地域イベントとも連携を図るまでになっています。

②取り組みの成果

農業委員が活動を行うようになり、町内に有する農業関係グループから支援してもらえるようになりました。平成18年度には各農業団体のグループや加工グループ、行政、JAが加わり、農業で町おこしをするプロジェクトチームが発足しました。このプロジェクトチームに農業委員会からも積極的に参画しています。耕作放棄地解消対策を通して活発になった食農教育推進や地域おこし活動をおこなうことで、農業委員自身が農業の代表者である自覚が高まってきています。地域農業の発展を目指した農業委員の取り組み続きます。



《都市と農村交流イベント》

【食農教育・地域おこしと連携した耕作放棄地の解消の取り組み】

平成17年度	秋じゃがいも収穫体験	12月	<ul style="list-style-type: none"> ●幼稚園・保育園児・子育てグループの子どもたちを中心に農業体験、収穫した作物は学校給食センターへ食材として提供 ●耕作放棄地を活用した町の農業関連団体等が企画した都市と農村交流イベントに参画 ●もりだくさん収穫体験イベント圃場として提供 ●学校給食センター事業の食育教育取り組み圃場として小学4年生児童に収穫体験指導 ●町内の農業関係者と共に地元小学5年生の教育ファーム事業の推進にあたる。
平成18年度	春じゃがいも植え付け体験	3月	
	春じゃがいも収穫体験	7月	
	田植え体験&土佐街並み散策	6月	
	稲刈り体験&竹細工	10月	
	春じゃがいも収穫体験	6月	
平成19年度	さつまいも収穫体験	10月	
	春じゃがいも収穫体験	6月	
平成20年度	田植え体験指導	6月	
	稲刈り体験指導	11月	
	しめ縄づくり指導	12月	
	もちつき体験指導	1月	
	落花生の収穫体験	11月	
		12月	
	秋じゃがいもの収穫体験	11月	
		12月	

《作業する農業委員》



《学校給食センター事業》



《教育ファーム事業》



《幼稚園・保育園児・子育てグループの収穫体験》